



# わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



「**こころ**」は誰にも見えないけれど、  
「**こころづかい**」は見える  
「**思い**」は見えないけれど  
「**思いやり**は」誰にも見える



この言葉は平成 23 年の東日本大震災以降、ほとんど毎日、テレビでACジャパンのCMで流れていたもので、詩人で作詞家の宮沢章二さんが作った「行為の意味」という詩の抜粋です。私はこの言葉が大好きで、昨年为学校だよりでも紹介しました。

この言葉はとても重みのあるすばらしい言葉だと思います。被害に遭われ、大変な悲しみを抱え、厳しい避難所生活を強いられている多くの皆さんへの「思い」を、私たち一人ひとりがしっかりと胸に刻むとともに、その「思い」をしっかりと形（行動）に表していくことが大切なのだとこのことを教えてくれています。

## 『行為の意味』

宮沢 章二

あなたの心はどんな形ですかと  
人に聞かれても答えようがない  
自分にも他人にも心は見えない  
けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど  
心づかいは見えるのだ  
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど  
思いやりは見えるのだ  
それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり  
やさしい思いが やさしい行為になるとき  
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる  
それは 人が人として生きることだ

12月4日から10日は「人権週間」です。残念なことにいまだに、いじめや虐待、外国人や障害のある人、ハンセン病元患者とその家族などに対する偏見や差別、各種ハラスメントなど、様々な人権問題が存在しています。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って、感染者や医療従事者、またこれらの方々の方々の家族などに対する偏見や差別といった様々な人権問題が発生するとともに、SNS上で他人を誹謗中傷したり、個人の名誉やプライバシーを侵害したり、あるいは差別を助長するような情報を発信したりするといったインターネット上の人権侵害も深刻な問題となっています。(法務省人権週間からの抜粋)

平林小学校の教育目標は「ともにのびる子 ともにひらく子」です。この教育目標には、子どもたちが自分や他者の人権を尊重し、認め支え合いながらともに未来を切り拓いていこうという願いが込められています。

平林小学校では、人権教育を大切に、子どもたちの優しい心をもっと優しく、そして相手を思いやる行動をもっとたくさんできるように取り組んでいます。また、保護者や地域の皆様方からもご協力をいただいております。このこころづかいや思いやりの気持ちと行動を平林小学校の伝統として築いていきたいと思っております。

校長 高橋 明

# 校内読書旬間

10月28日から11月12日まで、校内読書旬間を行いました。

内容として、次の7つがありました。

## (1) 朝の読書タイム

期間中の朝学習は、一斉に各教室で読書をする時間にしました。担任も一緒に読書をしました。



「ちゃがまの会」の方のお話

## (2) 『この本紹介します』

各職員が、子どもたちに勧めする本を選び、あらすじや「おすすめのポイント」などをカードに記入し、その本とともに図書室前の廊下に展示しました。



「ポテトの会」の方の読み聞かせ

## (3) 『お話を聞く会』

10月28日、11月25日には「ちゃがまの会」の方々、11月11日には「ポテトの会」の方々が、各教室で、地域の伝説を話したり読み聞かせをしたりしてくださいました。



『この本紹介します』

職員による読み聞かせ

## (4) 職員による本の読み聞かせ

朝の読書タイム時に、職員が各教室に分かれ、自分の好きな本、思い出の本、子どもたちの喜びそうな本を選び、読み聞かせをしました。



『お気に入りの本を紹介しよう』

## (5) 『お気に入りの本を紹介しよう』—全校児童—

全校児童が、紹介カードに、お気に入りの本の紹介を書きました。書いたカードは、校内に掲示された校内の自分の誕生日月の用紙に貼りました。

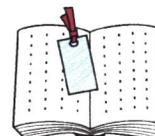
## (6) 図書委員会の活動

図書委員の児童が、「本のおみくじ」、「ポップコンテスト」、「しおりコンテスト」などの楽しい催しを計画しました。

## (7) その他

学級文庫を読んだ際も、図書ファイルにその都度記入することとしました。また、各学年で、図書ファイルの使い方について再度確認をしました。

これらの活動を通して、本を読む機会が増え、本に親しむとともに進んで読書をしようとする態度が育つように願っています。



# 平小フェスティバル(児童会祭り)

11月20日に「平小フェスティバル」が行われました。

今回は、コロナ対策のため、保護者の方や保育園へのご案内を控えさせていただきました。

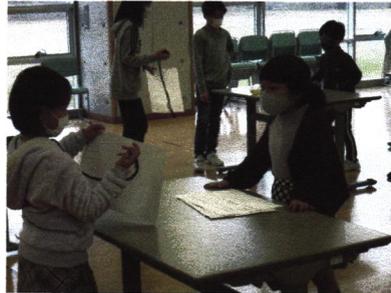
全校児童が8つの縦割り班に分かれ、10月の終わり頃から、アイデアを出し合って全校のみんなが楽しく参加できるお店を考え、上学年と下学年が協力して準備を進めてきました。

当日は、各班が、お店を運営する人たちと各お店を回る人たちの2グループに分かれ、途中で交代してフェスティバルを進めました。

子どもたちは、お店に来る人に親切に接し、廊下でプラカードを持ちお店のアピールをするなど、一生懸命に取り組みました。また、どのお店もよく考えられていて、子どもたちは、とても楽しそうにお店を回っていました。



1班「サスケ」



2班「ミッション」



3班「缶つみ」



4班「OGピットリ」



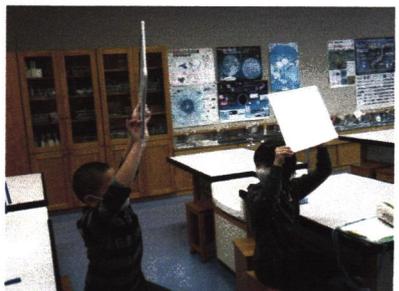
5班「箱の中身は何だろな」



6班「宝さがし」



7班「キャップとぼし」



8班「心を合わせて」

## 開校記念植樹

11月中旬、グラウンドの旧保育園側に開校記念植樹を行いました。植えたのは、公益社団法人 国土緑化推進機構の学校環境緑化モデル事業（申請中）により、松沢の佐藤 巧様よりお持ちいただいた苗木3本（エノキ、イイギリ、モクゲンジ）です。

学年ごとに時間を決めて苗木のところに集まり、児童全員が、少しずつ土入れをしました。

植樹を通して、自然に親しむとともに、「自分たちの大切な学校」という気持ちを高めてほしいと考えています。



## 図書の寄贈をいただきました

松和町の方々による「松栄会」様に、長年に渡り児童図書の寄贈をいただいています。今年度も、11月14日、松栄会会長の瀬賀民男様が来校され、寄贈してくださいました。子どもたちの読書体験を豊かにするために役立てさせていただきます。誠にありがとうございました。



## アルミ缶回収 ご協力ありがとうございます

6月にアルミ缶回収についてお願いをし、その後、多くの方々からアルミ缶の回収にご協力をいただいております。児童の環境教育の一環になるとともに、業者の買い取りにより遊具等の購入にあてています。今後も回収へのご協力をよろしく願いいたします。



## 行事予定

### 12月

1日(火) 全校集会 5年お米販売	23日(水) 給食最終 授業4時間(下校13:20)
2日(水) SSE	24日(木) 授業3時間(下校11:30)
3日(木) 地区子ども会	25日(金) 第2学期終業式 授業3時間(下校11:30)
4日(金) 5年お米販売	26日(土) 冬季休業日(～1/5)
10日(木) 委員会活動	29日(火)～31日(木) 閉庁日 ※15日～18日の個別懇談会の日は短縮5時間授業で、下校13:50となります。
15日(火) 個別懇談会① 児童集会	
16日(水) 個別懇談会② 読み聞かせ(ポテトの会)	
17日(木) 個別懇談会③	
18日(金) 個別懇談会④	

### 1月

6日(水) 第3学期始業式 授業3時間	21日(木) 避難訓練 神林中学校新入生保護者説明会
7日(木) 給食開始 委員会活動	22日(金) 3・4年スキー教室
8日(金) 校内書き初め大会	28日(木) 委員会活動
12日(火) 児童集会	29日(金) 5・6年スキー教室
13日(水) SSE	

### 新ホームページアドレスの訂正について

11月中旬に電子メールアドレスとホームページアドレスの変更についてお知らせしましたが、設定者より、新ホームページアドレスについて、下記のように誤っていたとの連絡がありました。ご迷惑をおかけし、大変申し訳ありません。

(正) <http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>

(誤) <http://www.hirabayashi-e.murakami.ed.jp>